



海と共

発行 宮城県漁業協同組合 〒986-0032 石巻市開成1番27 TEL0225(21)5711 FAX0225(21)5640



● 女川町：飯子浜漁港

主な内容

- 平成22年 年頭挨拶
- 平成21年水産関係受章者祝賀会開催
- 共販情報
- 主な一般経過
- 第14回経営管理委員会開催
- 第15回経営管理委員会開催
- 北上町十三浜支所事務所落成
- 仙台湾への福島固定式さし網漁業の入漁協定締結（平成22年）
- 第62回奉献乾海苔品評会開催
- “営漁簿”書いてみませんか
- 第26回《みやぎの海の子》作文入賞者表彰式
- ライフジャケット着用状況アンケート結果



平成22年 年頭挨拶

宮城県漁業協同組合
経営管理委員会

会 長 木 村 稔

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、漁業者の皆様並びに漁協系統の皆様にご挨拶を申し上げます。

不安定な経済情勢のなか、また政権交代という激動の政治情勢のなかで盛漁期に入り、漁業者の経済的基盤である魚価や消費動向が心配されていましたが、大きな落ち込みもなく順調に推移しており、2漁協を加えた33支所での運営となったJFみやぎは黒字決算に向けて努力しているところでございます。

しかし、急激な円高による経済不況や燃油価格の再上昇など今後も厳しい状況が予測されるなかで、全国漁協系統では「JF全国代表者集会」を開催し、今後5年間の新運動方針「JFグループ組織・経営・事業戦略」を採択し、組織・事業再編と人づくり、経営・事業改革に向けた取組み、協同組織の強み発揮と漁業・漁村への貢献を掲げ、新たな方針として取組むことが決定されております。

このようななかで、本組合としましては安全・安心な水産物の供給、浜の暮らしを守る信頼の金融機関の実現、漁業共済や積立ぶらすの拡充による漁業収入の安定に取組み組合員をサポートし、組合員の経営安定と漁村の活性化に努めてまいります。

また、合併3年目を迎えた本組合の組織制度も含めた今後の組合運営の問題点を再検討し、組合組織経営の改善を図り、組合の永続的安定に資するため組織経営改善検討委員会を設置し、健全で信頼される組合の確立を目指してまいりますので、今後とも皆様の力強いご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、益々のご繁栄とご健勝、そして海上安全と豊漁をご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

平成21年水産関係受章者祝賀会開催



水産関係受章者の皆さん

去る12月10日、江陽グランドホテル（仙台市）において、本県水産系統5団体主催による「平成21年水産関係受章者祝賀会」が開催されました。

冒頭、発起人代表として挨拶に立った齋藤吉勝県漁協副会長は受章者の栄誉を讃え「受章者の皆様には、それぞれ漁協系統事業や水産加工業、漁船漁業などの立場にあって、並々ならぬご尽力を頂き、そのご功績は語り尽くせませんが、この度の受章は、そのご労苦に報いるためのものであり、私達、水産関係に従事する者といたしましても名誉なことであり、心から敬意と感謝を申し上げます。

今水産業界を取り巻く環境は、非常に厳しい情勢ですが、これからもご健康に留意され、水産業界の振興発展のために、お力添え、ご指導をお願い申し上げます。」と受章者の労をねぎらいました。

続いて漁業共済組合の佐々木組合長より記念品の贈呈があり、その後、来賓を代表して宮城県農林水産部、伊藤部長（代理：若見経営支援課長）より「栄えある受章を心からお喜び申し上げます。今後とも健康に留意されまして、本県水産業の育成、発展にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。」と祝辞を述べられました。

これに応えて、受章者13名を代表し阿部力太郎氏が「盛大な受章祝賀会を開催して頂き、心から厚くお礼を申し上げます。受章は一重に先輩諸氏或いは皆様方の格別のご厚情の賜と感謝を申し上げます。本日、賜りましたご好意を肝に銘じ、これからも微力では御座いますが、水産業の発展のため努めてまいり所存であり、なお一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。」と謝辞を述べられました。

その後、漁船保険組合臼井組合長の音頭で乾杯を行い祝宴となりました。祝賀会は受章者のこれまでの、ご労苦をねぎらい終始和やかに進み、最後に漁業信用基金協会の鶴飼理事長が閉会挨拶と三本締めを行い宴が閉じられました。

平成21年受章者

【春の叙勲】

旭日単光章 吉田昌美 殿

【秋の叙勲】

旭日双光章 小野寺芳太郎 殿

旭日単光章 菅原豊一 殿

【文化の日知事表彰】

県治功労 仁田和廣 殿

産業功労 畠山幹男 殿

産業功労 熊谷智 殿

産業功労 佐藤清吾 殿

産業功労 鈴木潔 殿

産業功労 村田勝正 殿

消防防災功労 高橋一郎 殿

調査統計功労 蜂谷雅美 殿

【全漁連会長表彰】

漁協運動功労者 阿部力太郎 殿

【大日本水産会長表彰】

水産功績者 畠山昭四郎 殿

共 販 情 報

〔乾のり〕

本県海苔の秋芽による生産は、赤グサレ病の影響と時化による芽流れ等の影響があり、いまひとつ伸びない生産状況となりました。

価格面においては、色のある業務向け製品は確り買われましたが、上の等級の価格が思いのほか伸びない状況でありました。

その結果、年内の共販実績は枚数で1億4千7百万枚、金額は12億1千7百万円、平均単価は8円25銭/枚となりました。

枚数・金額では、前年を幾分上回ることが出来ましたが平均単価では71銭下回りました。

昨年度は、1月、2月の平均単価は9円台で推移しており、今年度においても本格生産に入りました冷凍海苔網での生産と価格形成に大いに期待するところであります。



第7回乾海苔入札会：新年セレモニー

〔鮮かき〕

鮮かき共販は、9月29日より開始され、生産者の方々のご理解の下、実施された計画生産に基づく出荷体制の構築と一部海域でのカキの身入り回復の遅れ等による一日あたりの上場数量の減少等があいまって価格を押し上げる結果となりました。

また、広島県産カキの生育の遅れとノロウイルスの影響による生食用カキの供給不足が起こり宮城県産カキへの需要が高まった為に価格が高止まり、昨年の平均単価を1,763円/10kg上回る結果となりました。

12月30日までの共販実績は、数量で2,421トン。金額で31億8千9百万円となり、平均単価は13,782円/10kgとなりました。

今日の経済情勢がデフレ傾向の強まりで、販

売単価の上昇が見込みにくい状況にあります、年明け以降の共販においても価格の安定に期待するところであります。

〔あわび〕

今漁期のあわびの価格は11月で6万4千円台から5万6千円台と昨年の価格を1万6千円から1万3千円程上回りましたが、12月の価格については、岩手県での水揚げが順調であったことから幾分値を下げ、5万9千円台から5万6千円台となりました。

水揚げ状況につきましては、11月、12月ともに時化の日が多く、開口回数の減少から水揚げ数量は、11月で水揚げ予定数量の60パーセントに止まり、12月では水揚げ予定数量の64パーセントとなりました。

その結果12月末までの実績は次の通りとなりました。

数 量	128,658kg	(前年対比152.5%)
金 額	748,306,593円	(前年対比188.5%)
平均単価	58,162円/10kg	(前年対比123.6%)

〔わかめ〕

わかめ共販については、平成21年11月16日(月)に開催されました、第一回わかめ・こんぶ部会において2010年度の漁期対策等について協議が行われ、初入札会については2月3日(水)、最終入札会は4月30日(金)開催として了承されました。

また、わかめの異物混入によるクレーム防止に向けた取組みとして、異物混入防止の徹底を図る為に異物混入防止ポスターを生産者の方々に配布し、信頼されるわかめ製品の供給に努めることが了承されました。

〔ホタテ〕

ホタテ共販は、北海道産・青森県産ホタテの豊漁による安値販売と、今日のデフレ経済の中にあって低価格商品として位置づけられ、価格が昨年度同期の平均価格を23円60銭/kg下回っております。

その結果、12月末までの実績は次の通りとなりました。

数 量	10,725,655kg	(前年対比103.6%)
金 額	2,495,539,485円	(前年対比94.1%)
平均単価	232円70銭/kg	(前年対比90.8%)

主 な 一 般 経 過

- 11/26 第14回経営管理委員会
30 全漁連期中監査~12/4
〔矢本・雄勝湾支所外〕
- 12/ 1 あわび入札会〔北部・中部〕
3 経営指導打合せ
4 第3回乾のり入札会（B-1）
平成22年度カキ処理場建設打合せ
全漁連監査講評
5 宮城県小型漁船漁業部会
すくい・船びき網漁業合同委員会
7 第5回省燃油操業検討協議会
8 宮城県小型漁船漁業部会
第1回たら刺網漁業委員会
9 信用事業取次店契約廃止について
10 役員のコンプライアンス研修会
気仙沼総合支所小型漁船漁業部会大目
流し網漁業委員会・気仙沼地区近海
鯉鮪漁業組合代表者との懇談会
11 第4回乾のり入札会（A-1）
14 経営指導打合せ
15 第10回監事会
伊達のぎん種苗生産者会議
16 第3回気仙沼総合支所運営委員会
仙台湾小型漁船漁業部会第2回仙台湾
小型漁船漁業部会並びに福島県固定
刺網漁業の入漁協定会議
17 第7回総合支所合同（塩釜・石巻）
のり部会
第5回乾のり入札会（B-2）
用船事業実施状況検討会
〔浦戸東部支所〕
19 用船事業実施状況検討会〔亘理支所〕
21 宮城県産カキを食べる会
22 十三浜支所新事務所落成式
25 第15回経営管理委員会
第6回乾のり入札会（合同）
1/ 8 第7回乾のり入札会（合同）
気仙沼総合支所資源管理型漁業
実践協議会並びに漁業代表者合同会議
12 第3回宮城県沿岸漁業者
経営管理・指導会議
15 第8回乾海苔入札会（A-2）
第3回役員協議会

1/19 第4回監事監査

（子会社：宮城県水産会館）

第6回支所長会議

塩釜総合支所第4回運営委員会

20 第4回監事監査（子会社：女川魚市場）

わかめ高度情報化総合

管理システム説明会

21 第11回理事会

22 第9回乾のり入札会（B-3）

26 支所運営委員長会議

第14回経営管理委員会開催

宮城県漁協は11月26日、本所に於いて平成21年度第14回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告事項として次の5件が報告されました。

1. 一般経過報告

2. 10月事業実績

3. 余裕金運用状況及び資金繰りリスク管理

4. 融資状況

5. 密漁にかかわる告訴

続いて議事に移り、次の3議案が提案説明されました。

第1号議案

組織経営改善検討委員会（仮称）の設置に関する件

第2号議案

融資決定に関する件

第3号議案

100万円以上のリースに関する件

第1号議案は、「組合経営組織改善に関する提言」を受け開催した経営管理委員と支所運営委員長懇談会の協議結果を踏まえ、組織経営改善検討委員会（仮称）を設置することの承認を求めました。第2号議案は、定款に基づき、貸出案件調書（大口貸出先：3億円以上）のとおり貸付することの承認を求めました。第3号議案は、規程に基づき、リース契約を締結することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

第15回経営管理委員会開催

宮城県漁協は12月25日、本所に於いて平成21年度第15回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告として次の7件が報告されました。

1. 一般経過報告
2. 11月事業実績
3. 第3回監事監査（期中監査）結果報告
4. 余裕金運用状況及び資金繰りリスク管理
5. 融資状況
6. 訴訟の和解
7. 年末年始の業務

続いて議事に移り、次の3議案が提案説明されました。

第1号議案

雄勝町東部支所組合員資格審査委員会委員の変更に関する件

第2号議案

融資決定に関する件

第3号議案

100万円以上のリースに関する件

第1号議案は、雄勝町東部支所組合員資格審査委員会委員の辞任に伴う補欠委員（後任者）を委嘱することの承認を求めました。第2号議案は、定款に基づき、貸出案件調書（経営管理委員との契約）のとおり貸付することの承認を求めました。第3号議案は、規程に基づき、リース契約を締結することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

8月3日に建設着工した、北上町十三浜支所事務所が12月20日完成し、落成式が12月22日に南三陸町：ホテル観洋において執り行われました。

式典は、佐藤栄記支所運営委員長の式辞に始まり、工事経過報告、その後、来賓の亀山紘石巻市長（代理）、笠原恵介宮城県東部振興事務所水産漁港部長（代理）より祝辞が述べられました。

終了後、引き続き北上町十三浜支所共済推進大会を開催、行事の全てを終了致しました。

この施設は、老朽化が進み、組合員から建て替えを望む声が強くだされていたもので、石巻市北上町十三浜字相川（旧事務所所在地）に建設したものです。

施設の概要は次のとおりです。

〔施設の概要〕

・総事業費	34,910,000円
・建物概要	木造2階建
・建物区分	事務室・エントランスロビー 展示コーナー 大会議室 多目的小会議室 倉庫・保管スペース 休憩コーナー

仙台湾への福島固定式さし網漁業の入漁協定締結(平成22年)

福島固定式さし網漁業の仙台湾への入漁については、宮城・福島県境正東線からロランA2600以南かつ小型底びき網漁業禁止ラインの沖側（仙台湾南部海域）に限定し、平成11年以来1年毎に入漁協定を締結し、福島県漁業者の入漁を認めております。

平成22年の入漁については、去る12月16日に宮城・福島漁業代表者会議を開催、平成21年の福島固定式さし網漁業者の操業状況等を勘案のうえ、仙台湾小型漁船漁業部会と福島相馬双葉漁業協同組合との間で入漁協定を締結いたしました。

1年間に限定し入漁は認めておりますが、福島県船の違反操業が確認された場合は、「違反

北上町十三浜支所事務所落成



完成した十三浜支所事務所

船のみへの罰則ではなく連帯して責任を負うこと。さらに状況に応じては無期限の入漁停止措置を課すこと。」などの厳しい罰則等を定め、適正操業の遵守徹底に努めております。

そのようなことから、入漁海域以外において福島県船籍が固定式さし網を敷設するなどの違反操業を確認した場合は、船名・場所等について各支所及び本所指導課まで、速やかにご連絡いただきますよう組合員みなさまのご協力をお願いいたします。

第62回奉献乾海苔品評会開催



奉献乾海苔品評会（塩釜神社）

去る1月7日（木）、恒例となっている志波彦神社・塩釜神社、産業振興大祭協賛会主催の第62回奉献乾海苔品評会が開催されました。

審査は、県漁協・商工会議所・海苔問屋及び関係自治体等の担当者で行われ、出品された自慢の乾海苔178点の、色、艶、香り等を慎重に審査しました。

その結果、優賞は矢本支所相澤武一氏が、準優賞は七ヶ浜支所（松ヶ浜湊浜地区）岸柳良広氏がそれぞれ選ばれました。又、その他88点が入賞されました。受賞されました皆様方に対

し、心からお祝い申し上げます。

表彰式は、1月11日に塩釜神社左右宮拝殿において執り行われました。尚、優賞並びに準優賞の乾海苔は、2月9日、皇室に献上されることになっております。

“営漁簿”書いてみませんか

- ・節税のために！
- ・自らの経営内容把握のために！
- ・近いうち予想される
漁業所得保障制度に備えて！

納税者番号	
平成 年度申告分	
漁業所得収支計算書	
自 平成 年 月 日	
至 平成 年 月 日	
7 年 間 保 存	
住 所	
氏 名	
屋 号	
船 名	
電話番号	
所 属	吉 計 出 発 所
JF 宮城県漁業協同組合	

漁業に特化した年間収支内訳を記載する帳簿（営漁簿）を作成しました。

収入・経費について、伝票等を月毎に整理・記載すると、税務申告用の補助資料が完成いたします。

給料賃金・償却資産・損益計算書については、提出用ページを切取・押印し、税務署に提出することが可能です。

詳細は、各支所にお問い合わせ下さい。

一部100円

第26回《みやぎの海の子》作文入賞者表彰式

本年で第26回を迎えた「みやぎの海の子」作文は、毎年、JFみやぎ女性部連絡協議会（会長：畠山悦子、気仙沼地区支所）が主催団体として実施しており、本年も県内各地より、小・中学生合わせて165作品の応募がありました。

内訳は第1部（小学校1年～3年）が23作品、第2部（小学校4年～6年）が63作品、第3部（中学生1年～3年）が79作品であり、いづれ劣らぬ力作が主催者へ寄せられました。

これら作文については、選考委員会（委員6名）による厳正な審査の結果、宮城県知事賞を初めとした各賞が下記のとおり決定され、その栄誉を称えるため、去る1月6日(水)、石巻グランドホテルにおいて入賞者表彰式を開催し、各団体代表者により賞状と楯並びに副賞を授与いたしました。

平成22年度においても、第27回目となる作文募集を行う予定としておりますので、組合員みなさまのご協力をお願いいたしますとともに、本年を上回る作文の応募を心待ちにしております。



第1部入賞者



第2部入賞者



第3部入賞者

部	賞	題 名	氏 名	学 校 名	学年
第1部	宮 城 県 知 事 賞	おじいさんの海を守りたい	阿 部 玲 奈	女川町立女川第三小学校	3 年
	宮城県漁協経営管理委員会会長賞	おとうさんはりょうしのヒーローだよ	佐 野 真 翔	南三陸町立戸倉小学校	1 年
	宮城県漁業共済組合長賞	海で働く父母は、私の自まん	阿 部 史 奈	女川町立女川第三小学校	3 年
	宮城県JF共済推進本部本部長賞	おとうさんがんばってね	阿 部 美 幸	南三陸町立戸倉小学校	1 年
	宮城県漁船保険組合長賞	おとうさんのギンザケ	小 松 結 彩	女川町立女川第三小学校	1 年
	宮城県漁信基理事長賞	私の家族は働き者	相 原 理 奈	女川町立女川第三小学校	3 年
	宮城県漁協女性連会長賞	わたしのすきな緑と海	小野寺 愛 紘	気仙沼市立大島小学校	3 年
第2部	宮 城 県 知 事 賞	夏休みの手伝い	平 塚 麻 永	女川町立女川第二小学校	6 年
	宮城県漁協経営管理委員会会長賞	大好きな父	鈴 木 美 亜	女川町立女川第三小学校	5 年
	宮城県漁業共済組合長賞	父を船に乗せる	渡 辺 たくみ 匠	石巻市立寄磯小学校	5 年
	宮城県JF共済推進本部本部長賞	じいちゃんとはあちゃんが働く海	芳 賀 麻里奈	南三陸町立戸倉小学校	6 年
	宮城県漁船保険組合長賞	漁師の息子に生まれて	星 大 輝	南三陸町立戸倉小学校	4 年
	宮城県漁信基理事長賞	海の仕事は命がけ	平 塚 佳 奈	石巻市立東浜小学校	5 年
	宮城県漁協女性連会長賞	お父さんのように	阿 部 龍 龍	南三陸町立戸倉小学校	4 年
第3部	宮 城 県 知 事 賞	お父さんと海	板 垣 隼 人	石巻市立渡波中学校	1 年
	宮城県漁協経営管理委員会会長賞	頑張っている父	平 間 美 悠	石巻市立寄磯中学校	1 年
	宮城県漁業共済組合長賞	海で働く両親	鈴 木 健 太	石巻市立寄磯中学校	3 年
	宮城県JF共済推進本部本部長賞	父のような人になりたい	小野寺 龍 也	南三陸町立戸倉中学校	3 年
	宮城県漁船保険組合長賞	「お父さん」	菅 原 佳那子	南三陸町立戸倉中学校	3 年
	宮城県漁信基理事長賞	「自らの命は自らで守る」	遠 藤 なつみ	石巻市立寄磯中学校	1 年
	宮城県漁協女性連会長賞	僕は海の子漁師の子	須 田 龍 星	石巻市立万石浦中学校	1 年

ライフジャケット着用状況アンケート結果

宮城県漁船海難防止協議会

宮城県沿岸では、多数の漁船海難や海中転落事故が発生、尊い人命が失われるのみならず、家族の悲しみ、地域の捜索等多大な損害等を与えています。

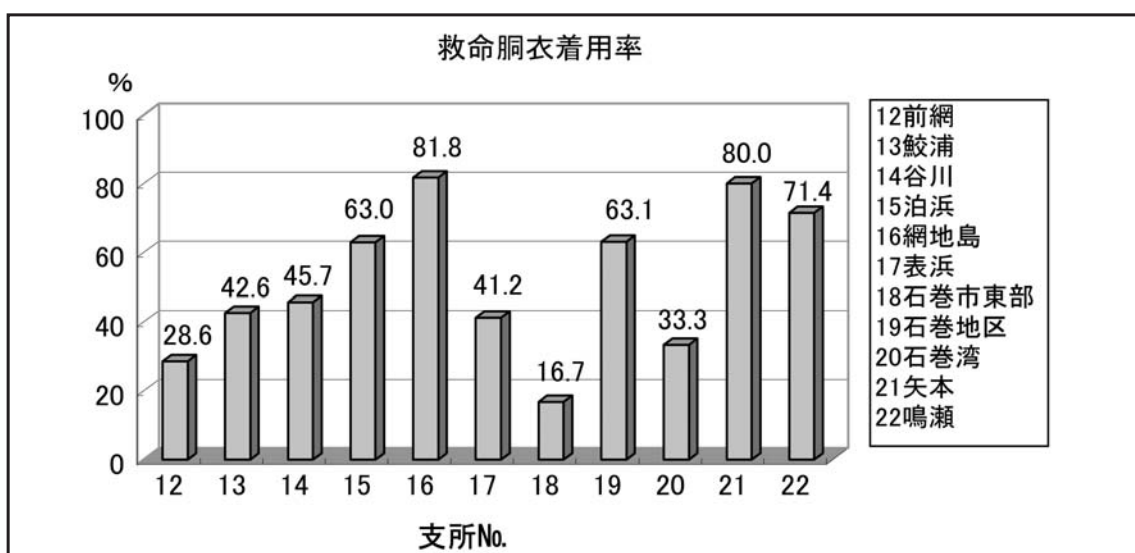
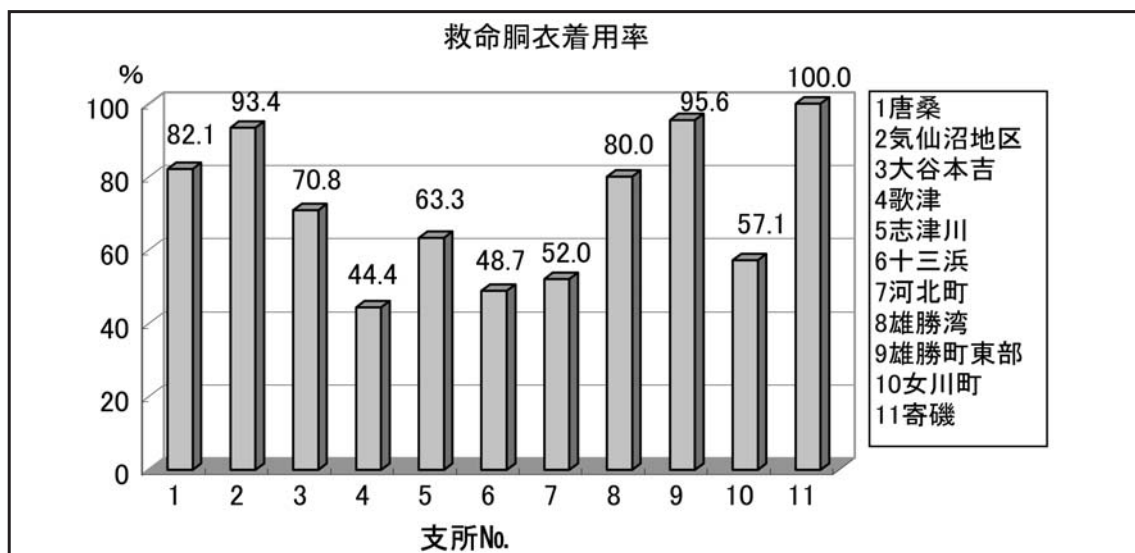
しかし、この種事故の大半は、救命胴衣を着用していれば助かったと思料されることから、宮城県漁業協同組合は、ライフジャケット着用推進員（LGL）を中心に地域一体となった「ライフジャケット常時着用推進」に取り組んでいます。

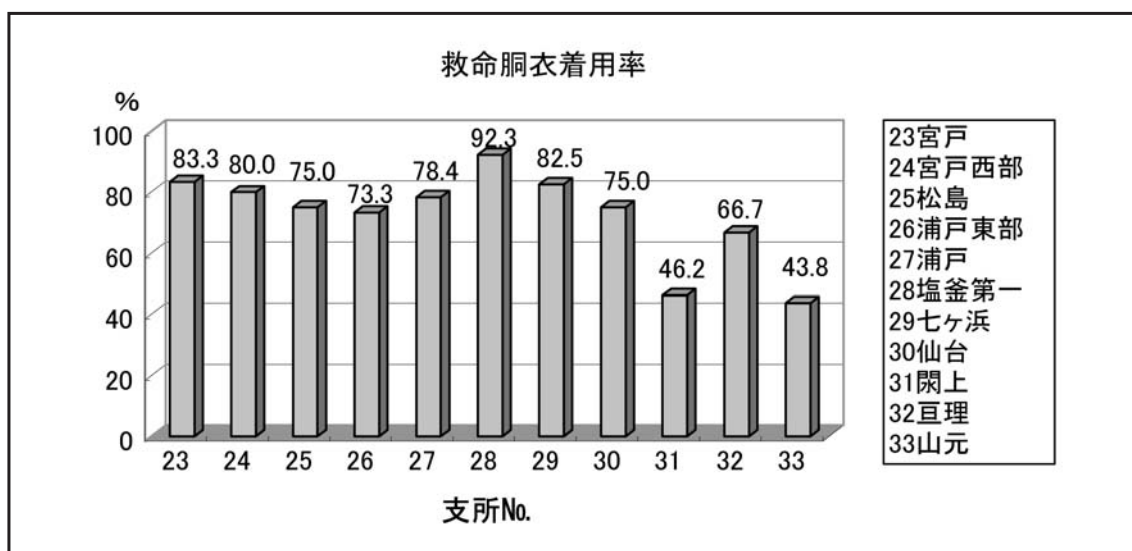
さて、当協議会では、ライフジャケット着用の現状を把握し、今後の海難防止に役立てるため、皆様のご協力をいただき、昨年10月の「平成21年度全国漁船安全操業推進月間」において、ライフジャケット着用状況のアンケート調査を行い、2,382名の回答がありました。

ご協力いただきました皆様には、本冊子をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

なお、宮城県漁業協同組合の着用率は、74.6%と向上していますが各支所で格差があります。

今後とも、「ライフジャケット常時着用」等漁船海難防止の徹底について、よろしくお願い申し上げます。





救命胴衣(ライフジャケット)着用状況(平成21年10月31日現在)

No.	支 所 名	(正) 組合員数	平成21年				
			対象者	必ず着用	時々着用	着用しない	着用率%
1	唐桑支所	818	672	552	97	23	82.1
2	気仙沼地区支所	1,062	106	99	6	1	93.4
3	大谷本吉支所	739	72	51	13	8	70.8
4	歌津支所	720	99	44	38	17	44.4
5	志津川支所	556	150	95	50	5	63.3
6	北上町十三浜支所	237	78	38	29	11	48.7
7	河北町支所	63	25	13	4	8	52.0
8	雄勝町雄勝湾支所	84	10	8	2	0	80.0
9	雄勝町東部支所	422	338	323	14	1	95.6
10	女川町支所	479	63	36	25	2	57.1
11	寄磯支所	66	51	51	0	0	100.0
12	前網支所	42	14	4	10	0	28.6
13	鮫浦支所	56	47	20	27	0	42.6
14	谷川支所	52	35	16	16	3	45.7
15	泊浜支所	48	27	17	7	3	63.0
16	網地島支所	229	33	27	4	2	81.8
17	表浜支所	205	34	14	14	6	41.2
18	石巻市東部支所	97	30	5	23	2	16.7
19	石巻地区支所	284	130	82	40	8	63.1
20	石巻湾支所	150	9	3	6	0	33.3
21	矢本支所	31	10	8	2	0	80.0
22	鳴瀬支所	41	21	15	6	0	71.4
23	宮戸支所	58	6	5	1	0	83.3
24	宮戸西部支所	81	15	12	3	0	80.0
25	松島支所	117	4	3	1	0	75.0
26	塩釜市浦戸東部支所	53	15	11	3	1	73.3
27	塩釜市浦戸支所	78	37	29	8	0	78.4
28	塩釜市第一支所	72	39	36	3	0	92.3
29	七ヶ浜支所	227	143	118	22	3	82.5
30	仙台支所	51	16	12	4	0	75.0
31	関上支所	43	13	6	5	2	46.2
32	亶理支所	155	24	16	7	1	66.7
33	山元支所	68	16	7	6	3	43.8
合 計		7,484	2,382	1,776	496	110	74.6